

令和元年度座談会「町長と語ろうまちづくり」（清水ふれあいセンター）

開催日時	令和元年 11 月 27 日（水）午後 7 時から午後 9 時	天気 晴
場 所	清水ふれあいセンター	
町民参加者	男 30 人 女 8 人 （40 代以下 1 人、50 代 2 人、60 代以上 35 人）	
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画政策課長、総務防災課長、保険健康課長、農林課長、都市整備課長、新東名対策室長、事務局 2 人	

出席者から出た主な意見や提案

《テーマ：鳥獣被害防止対策の現状とその対応について》

○最近、クマやシカを目撃が多くなってきている。人的被害になるのは時間の問題だと思うのだが、その対策はどのようにしているのか。

○神奈川県でクマの人的被害が出ていないのでまだ問題にはなっていないが、他県などでは大きな被害が出ているところもある。被害がないから今の対処方法を取っている。行政のやり方はクマが希少だから、捕獲して麻酔を撃って放すことになっている。クマについてはそういうことになっている。それは町と県で調整してなんとかしてもらいたい。

○3 年前に大野山の牧場が閉鎖になった際に、牛が逃げないように県が設置した柵を県が撤去をしてしまった。そのことにより、柵に隙間ができてしまい、シカが通ってしまうようになった。県は地元への配慮が全くない。県と町では話し合いがされ撤去することになったのか。

○被害調査をしているというが、被害があるない以前に、田んぼや畑をやりたいが、シカやイノシシの被害を受けることが予想されるので、できないのが現状である。

《テーマ：防災無線等のデジタル化の現状とその影響について》

○現在の防災無線は各地区に設置されており、山間部などにはスピーカーを設置してもらおうというのが一番いいと思う。防災無線について以前聞きづらいということで、対応として戸別に受信機を設置して、そのための助成金を町から出してもらった。デジタル化によってどのように変わるのか。助成制度などはどうなるのか。

○デジタル化した時に、大野山周辺の方などは電波が届きにくくなるのではないかと。防災無線の数を減らしたり、防災無線が届きにくいところなどへの対策はあるのか。

《テーマ：その他》

○町営水道化されていない水源から水をとっている地域の水道の安全性はどのように確保してい

るのか。

○台風 19 号で被災したふれあいビレッジの再オープンについてご支援いただいていると思う。予算も大変な額になると思う。もしオープン時期がおおよそ決まっているのならば教えてほしい。いつ頃を目標にしているのか。

○台風 19 号で畑沢は近年にない被害を受けた。生活道路としては二ノ倉開発が新設した道路を使用しているが、そちらの方に町道を付け替えて今後維持管理していくという考えはあるのか。

○山北スマートインターチェンジ周辺の構想の中で、産業や観光の新たなイベント空間の中に JR 谷峨駅が入っている。是非構想を練り上げていく中で、JR 谷峨駅では活動の利便性も兼ねて検討をしてもらいたい。

○台風 19 号による大雨でお茶畑に土砂が入っているが、工事はいつ頃始まるのか。